

寺津中学校

寺津を愛し、地域の未来を創造する生徒の育成
— 名古屋市港防災センターや消防団と連携した実践力を高める防災教育と
心の教育を深めるSSW・SCを活用したチームの構築 —

1 命の尊さを学ぶ

(1) 地域の防災を考える

災害時に、自ら考え、主体的に行動できる中学生を育てるために、地域の防災訓練に積極的に参加するなど、防災についての実践力を高める。

(2) 自他の命を守る

名古屋港防災センターや消防団と連携し、講演会を開催したり、共同で活動をする機会を設けたりして、より広い視野で防災について考える機会を増やす。地域の防災会と協力して、地域の方を招いての防災交流会を実施し、命を守る行動を具体的に地域の方にも広げる。



防災交流会の様子

(3) 命をテーマにした道徳授業

命を大切にする心を育てるために、「命」をテーマとした道徳授業を全職員が実施する。授業研究会も行い、全職員で道徳の授業力を高める。

2 自己肯定感、主体性を高める積極的な生徒指導

(1) 教師の学級経営力を高める

学級、生徒一人一人を把握する力を高めるために、職員で事例研修会を行い、全職員でクレペリンテストの分析の仕方やしかし方を学ぶ。SSW・SCと連携を密に取りながら、チームとして活動できる体制を整える。

(2) 実行委員制に基づく自治活動

生徒の自主活動を活性化し、自己調整力の育成を図るために、実行委員制で行事等を運営する。縦割り異学年交流を主軸とし、主体性を育てる。



道徳の授業の様子

3 地域とともに育つ寺中生

地域へ広がるボランティア活動

小学校行事へのボランティア活動、地域の保育園や介護施設でのボランティア活動を継続する。また、地域の清掃活動や地域行事等に積極的に参加し、寺中生の自己有用感を育む。ふれあい資源回収で1軒1軒の家庭を回ることにより、自分の住む地域にある老人世帯や小学生、幼児などを知り、災害時に声を掛け合える関係を築く。中学生が世代間をつなぎ、地域のよい相互関係を築く。

・道徳授業研究会(9月)・クレペリンテスト(4月)・寺津地区クリーン活動(随時)・寺津盆踊りボランティア活動(8月)・寺津っ子を育てる会講演会(11月)・防災訓練(4月、5月、9月、11月、1月)・消防団との学習会(11月)・地区防災訓練参加・小中連絡調整会(年6回)・部活動参観(6月)・地域別生徒会(年2回)・地域防災交流会(1月)